

【1】第4次大阪府障がい者計画(後期計画)における整理

<めざすべき姿>

障がい者がより質の高い生活を楽しみ生き生きと活動している

【今後の主な課題】

- 障がい者の余暇活動や社会参加の充実・拡大
- スポーツ活動、芸術・文化活動の活性化

【個別分野ごとの施策の方向性】

- (1)余暇活動や社会参加に取り組む
 - ① 余暇活動の充実と活動内容の拡大
 - ② 障がいのある人と障がいのない人の交流、主体的な社会参加
 - ③ ボランティア活動の活性化
- (2)スポーツ活動に取り組む
- (3)芸術・文化活動に取り組む

【2】平成28年度障がい者の生活ニーズ実態調査の分析

表1 「今の暮らし」×「日頃楽しむ余暇活動」

	買い物や食事	映画・演劇や博物館・美術館などの鑑賞	遊園地やカラオケ、ゲームセンター、漫画喫茶などのアミューズメント施設	スポーツ	レジャー(バーベキュー、釣りなど)や旅行	家でゆっくり過ごす(ゲーム、読書、テレビを観る、音楽鑑賞など)	総計
一人で暮らす	208	46	45	13	19	277	608
親や兄弟と暮らす	609	146	230	130	109	1,020	2,244
配偶者や子どもと暮らす	449	114	52	64	69	671	1,419
友達とグループで暮らす	37	9	13	8	1	31	99
入所施設で暮らす	50	11	10	3	4	58	136
病院で暮らす	6	0	1	1	1	5	14
総計	1,359	326	351	219	203	2,062	4,520

表2 「今の暮らし」×「余暇活動をする上での困りごと」

	金銭的な余裕がない	介助や支援が必要だが、利用しにくい、足りない	交通機関が利用しにくい	建物の設備や活動場所の環境が不便	周囲の人の障がい理解・配慮がない、困ったときに手助けがない	心身の状態が不安定になりやすい	一緒に楽しめる友人等が居ない	総計
一人で暮らす	219	35	64	10	21	89	98	536
親や兄弟と暮らす	433	150	167	111	204	239	390	1,694
配偶者や子どもと暮らす	409	53	158	52	39	181	118	1,010
友達とグループで暮らす	21	11	12	5	9	6	13	77
入所施設で暮らす	30	26	19	2	11	23	21	132
病院で暮らす	6	2	2	2	1	4	3	20
総計	1,118	277	422	182	285	542	643	3,469

表 3 「日頃楽しむ余暇活動(家でゆっくり過ごす、買い物や食事)」×「余暇活動をする上での困りごと」

	金銭的な余裕がない	介助や支援が必要だが、利用しにくい、足りない	交通機関が利用しにくい	建物の設備や活動場所の環境が不便	周囲の人の障がい理解・配慮がない、困ったときに手助けがない	心身の状態が不安定になりやすい	一緒に楽しめる友人等が居ない	総計
家でゆっくり過ごす	895	185	325	136	209	435	529	2,714
買い物や食事	606	133	226	98	147	277	324	1,811

表 4 「日頃楽しむ余暇活動(買い物や食事)」×「外出するときに困ること」

	道路に段差がある、信号や視覚障がい者誘導用ブロックが分かりにくい	建物の設備が不便	通行車両が危ない	公共交通機関が利用しにくい	移動支援サービス(ガイドヘルプ)が利用しにくい	困ったときに周囲の人の手助けが無い(お願いしにくい)	特に困ることは無い	総計
買い物や食事	172	309	327	255	121	270	416	1,870

表 5 「ストレスの有無」×「日頃楽しむ余暇活動」

	買い物や食事	映画・演劇や博物館・美術館などの鑑賞	遊園地やカラオケ、ゲームセンター、漫画喫茶などのアミューズメント施設	スポーツ	レジャー(バーベキュー、釣りなど)や旅行	家でゆっくり過ごす(ゲーム、読書、テレビを観る、音楽鑑賞など)	総計
ストレス有り	976	211	245	150	120	1,429	3,131
ストレス無し	358	99	87	63	64	540	1,211
総計	1,334	310	332	213	184	1,969	4,342

<分析結果>

- 暮らしの状況と余暇活動との相関関係では、「家でゆっくり過ごす」と答えた人が最も多く、2 番目に「買い物や食事」が多かった。友達とグループで暮らす及び病院で暮らす人では「買い物や食事」の方が、「家でゆっくり過ごす」よりも多い回答となっているが、それ以外の暮らしの状況ではいずれも「家でゆっくり過ごす」が最多回答となっている(表 1)。
- 暮らしの状況と余暇活動をする上での困りごととの相関関係では、暮らしの状況に関わらず「金銭的な余裕がない」が最も多い回答であり、次いで、「一緒に楽しめる友人等が居ない」、「心身の状態が不安定になりやすい」の順に回答が多かった(表 2)。
- 回答の多かった余暇活動(家でゆっくり過ごす、買い物や食事)と余暇活動をする上での困りごととの相関関係では、「金銭的な余裕がない」が最多回答であった。また、「家でゆっくりする人」は「買い物や食事」に出かける人に比べ、「心身の状態が不安定になりやすい」、「一緒に楽しめる友人等が居ない」と答えた人の割合が高い(表 3)。
- 「買い物や食事」をする人が外出するときに困ることとして最も多かった回答は「特に困ることは無い」であったが、困ることとしては「通行車両が危ない」、「建物の設備が不便」、「困ったときに周囲の人の手助けが無い」の順に回答が多かった(表 4)。
- 日頃の生活でストレスの有無と余暇活動との相関関係では、「家でゆっくりする人」及び「買い物や食事」に出かける人では、約 73%(2,405/3,303 人)がストレスが有ると回答しているのに対し、「映画・演劇や博物館・美術館などの鑑賞」、「スポーツ」、「レジャーや旅行」と回答している人では、約 32%(226/707 人)がストレスが無いと回答している(表 5)。